

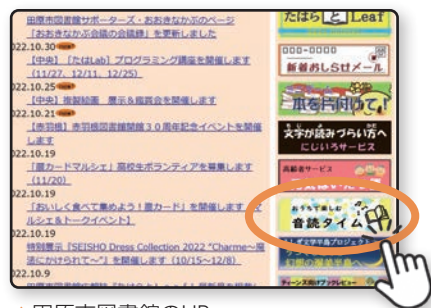
ホットニュース Hot News

◎「音読」の効果を知っていますか？

音読をすると、声に出して文章を読むことにより脳が活性化され、肺機能も向上すると言われています。コロナ禍で、友達とのおしゃべりなど口を動かす機会が減った今、ご自宅で気軽に音読を楽しんでみませんか？

図書館のHPには「おうちで楽しむ音読タイム」というページがあります。音読におすすめの名作や古典、「たはら言の葉コンクール」受賞作品のテキストと、図書館スタッフが朗読した音声も聞くことができます。

音読に、特別な技術は要りません。心地よさを味わえる程度の、自分のペースで始めてみましょう。きっと音読の効果を感じるはずですよ。



▲田原市図書館のHP

オスナの本



「つくる」のある暮らし 日本ヴォーグ社

ハンドメイド作家13人のアトリエを拝見。カラフルな糸やボタン、インク壺が並ぶ机は、見ているだけでワクワクします。



こりすのクリスマス

豊福まきこ/著 BL出版

大好きなサンタさんに贈るプレゼントを探すこりすのお話。贈り物の本当の意味を考える絵本です。

History Inquiry Club 其の227 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
渥美郷土資料館 ☎33-1127



博物館HP



博物館Instagram

船に乗って伊勢神宮へ いまむかし

12月になると、来たるお正月をどう過ごすか楽しみになってきます。私はコロナ以前には、友人とフェリーで鳥羽に渡り、伊勢神宮へ初詣に行っていました。来春が気軽に参拝できる状況であることを願います。

渥美半島の人たちの伊勢神宮への参拝は、(初詣ではありませんが)江戸中期頃から行われていたことが、史料から確認できます。当時はフェリーのような定期船は出ていなかったため、地元の漁船や荷船に乗り合わせて向かいました。まだ漁船で渡っていた昭和の頃の話で、地元のの方に伺うと、波の荒い表浜からでも、7~8人乗りの手こぎの漁船で渡って行ったそうです。船を使った伊勢神宮への参拝を「船参宮」といい、渥美半島だけでなく、伊勢湾・三河湾周辺の地域や静岡県などからも、多くの船が伊勢神宮を目指しました。

参拝以外にも楽しみがあり、例えば近くの旅館や料亭で飲んで歌って大騒ぎしていました。田原市博物館には伊勢神宮近くの旅館から地元の漁師たちに贈ら

れた大漁旗が何点か残されています。海に縁の深い人たちに伊勢神宮がより身近なものになっていたことがうかがえます。

漁船などによる船参宮は、1965(昭和40)年ごろまで続きましたが、自動車の普及や、フェリーなど湾内の交通網の発達によってなくなったようです。伊勢湾フェリーに乗ったときには、海を見ながら、我々の先輩たちが小さな船で渡っていった様子を思い浮かべてみてください。

(学芸員 木村洋介)



▲到着した男たちを歓迎する伊勢・神社港の女性たち(大正~昭和時代前期か/原版は伊勢・神社みなとまち館蔵)



▲伊勢・神社港の駿河屋旅館から小塩津の網元に贈られた大漁旗